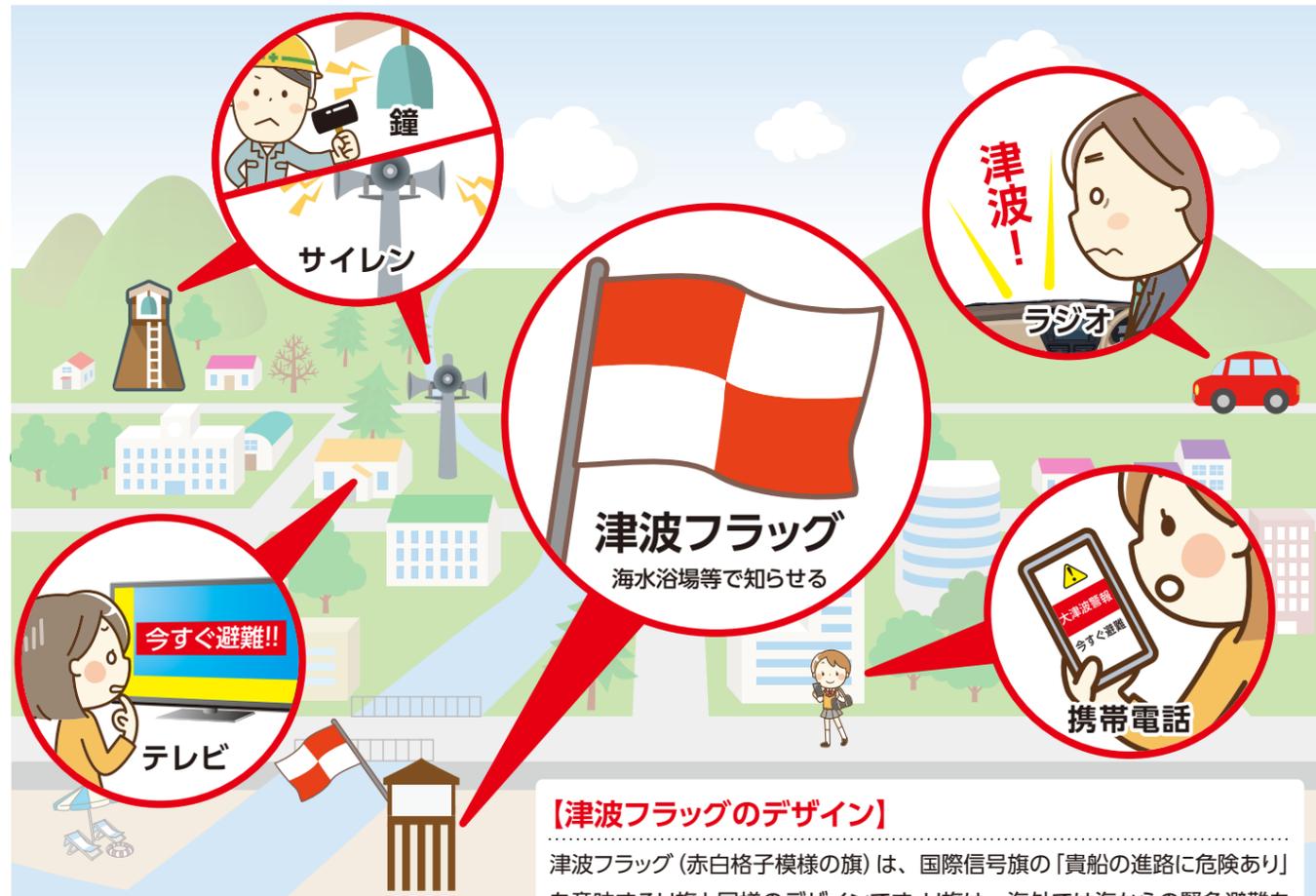


津波警報等が出たら

知る手段

津波警報等*は、テレビやラジオ、携帯電話等で知ることができます。知る手段に、令和2年夏より新しく「津波フラッグ」が加わりました。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。

*津波警報等は、大津波警報・津波警報・津波注意報の総称です。



【津波フラッグのデザイン】
津波フラッグ(赤白格子模様の旗)は、国際信号旗の「真船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。ただし、U旗は、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

■ 旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

情報種類	津波注意報	津波警報	大津波警報		
予想される津波の高さ	1m (0.2m-1m)	3m (1m-3m)	5m (3m-5m)	10m (5m-10m)	10m超 (10m-)
定性表現	表記しない	高い	巨大		

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません!



水害・土砂災害の防災情報の伝え方がわかります

防災情報はいろいろあるけどいつ避難すればいいの?

逃げ遅れゼロへ

警戒レベル4で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、【警戒レベル】を用いた避難情報が導入されています。市町村から【警戒レベル3、4】が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

警戒レベル1 心構えを高める (気象庁が発表)	警戒レベル2 避難行動の確認 (気象庁が発表)	警戒レベル3 高齢者等は 避難!	警戒レベル4 避難指示 (緊急) 全員避難!
--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	--

【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

避難情報と住民のみなさんの行動

避難情報は、災害の種別ごとに避難行動が必要な地域を示して発令します。市から発令される避難情報の入手方法について確認しましょう。(P89参照)市から発令される避難情報には、以下のものがあります。

避難指示(緊急)を発令することが予想される場合	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
高齢者等避難	避難指示

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等)は避難を開始しましょう。
- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。□ 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。

※ また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。早め早めの行動で、指定避難場所に自主避難をする場合は、市に連絡してください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載